

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 466 号	氏名	SEBOK KUMAR HALDER
学位審査委員	主査 植田 弘師 副査 中嶋 幹郎 副査 岩田 修永		
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、新規神経保護性 DAMPs : プロサイモシン <math>\alpha</math> の局在とそのストレス誘発性非古典的遊離並びに、その保護効果を個体レベルで明らかとしたものであり、研究目的として十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 個体における分子の局在変化と細胞同定に免疫組織化学法を用いている。さらには、種々の神経障害モデルを用い、行動学的な機能解析により神経保護効果を評価している。加えて、個体解析に重要である統計学的解析法を用いてその結果を解析していることから研究手法としては極めて妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、プロサイモシン <math>\alpha</math> の脳虚血による神経細胞特異的な遊離と特異性の基本原理を個体レベルで明らかとしている。網膜虚血モデルという高感度・高定量性の評価系を用いてプロサイモシン <math>\alpha</math> の神経保護効果を解析している点は特筆に値する。さらに、本分子の神経保護機構に炎症センサー受容体が関連することを新規に見出しており、今後の神経障害/細胞死に対する保護・治療研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は神経細胞死保護研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（薬学）の学位に値するものと判断した。</p>			